

# 1学期のはじめに

テーマは

「東灘推し」

先週の土曜日、交流戦の前哨戦が行われました。神戸高塚高校で行われた前哨戦は、朝の9時過ぎから夕方の4時まで。その日は、あいにくの大雨でした。

そのときに私が思ったのは、「東灘高校って、いい学校だなあ」ということです。赴任前にいろいろな人から、「東灘高校？めっちゃいい学校ですよ」と聞かされていましたが、その言葉が真実であることを目の当たりにした瞬間でした。まあ、中には、本校に不満を持っている人もいるでしょう。「いい学校？何が？刑務所みたいな学校やん。」と思っている人もいるかもしれません。ただ、前哨戦で私が見た東灘高校は「めっちゃいい学校でした」

なぜそう思ったのか。たくさんの生徒が、最初から最後までプレーしている選手たちを応援していたのです。たったそれだけのこと？と思う人もいるでしょう。でもね。自分の時間を使って他人を応援するって、なかなかできることではありません。「ありがとう」という言葉がありますが、語源は「有り難し。」つまり、有ることが難しい、その行為がめったにないことである、ということです。普通、人は自分のために自分のことをします。時に、自分の命を危険にさらし、駅のホームから落ちた人を助けた話がニュースになります。それを見聞きした多くの人が、その行為を「美しい」と評します。みんなで頑張っている人を応援する行為は、「美しい」と私は思います。

私は、みんなに「東灘推し」になってもらいたいと思います。かっこいい人、かわいい人、自分とは距離のある遠くの人を推すのもいいと思います。ただそこに、近くにいる、泥だらけ、汗まみれになって頑張っている隣の人を加えてもらいたいと思います。前哨戦にいた人は、もうすでに「東灘推し」でしょう。それ以外の人の中にも「東灘推し」の人はたくさんいると思います。そうでない人も含めて、みんなにはもっともっと「東灘推し」になってもらいたい、と思います。

目の前にいる一人の人を大切にできない人は、これから出会うたくさんの人を大切にできない、と私は思います。

ドラゴンボールの元気玉ではないですが、みんなの力を少しずつ集めて、頑張っている人、頑張ろうとしている人、落ち込んでいる人の背中を押してあげましょう。そうすれば、この学校はもっともっと「いい学校」になると思います。

一緒に「東灘」の推し活をやっていきましょう。